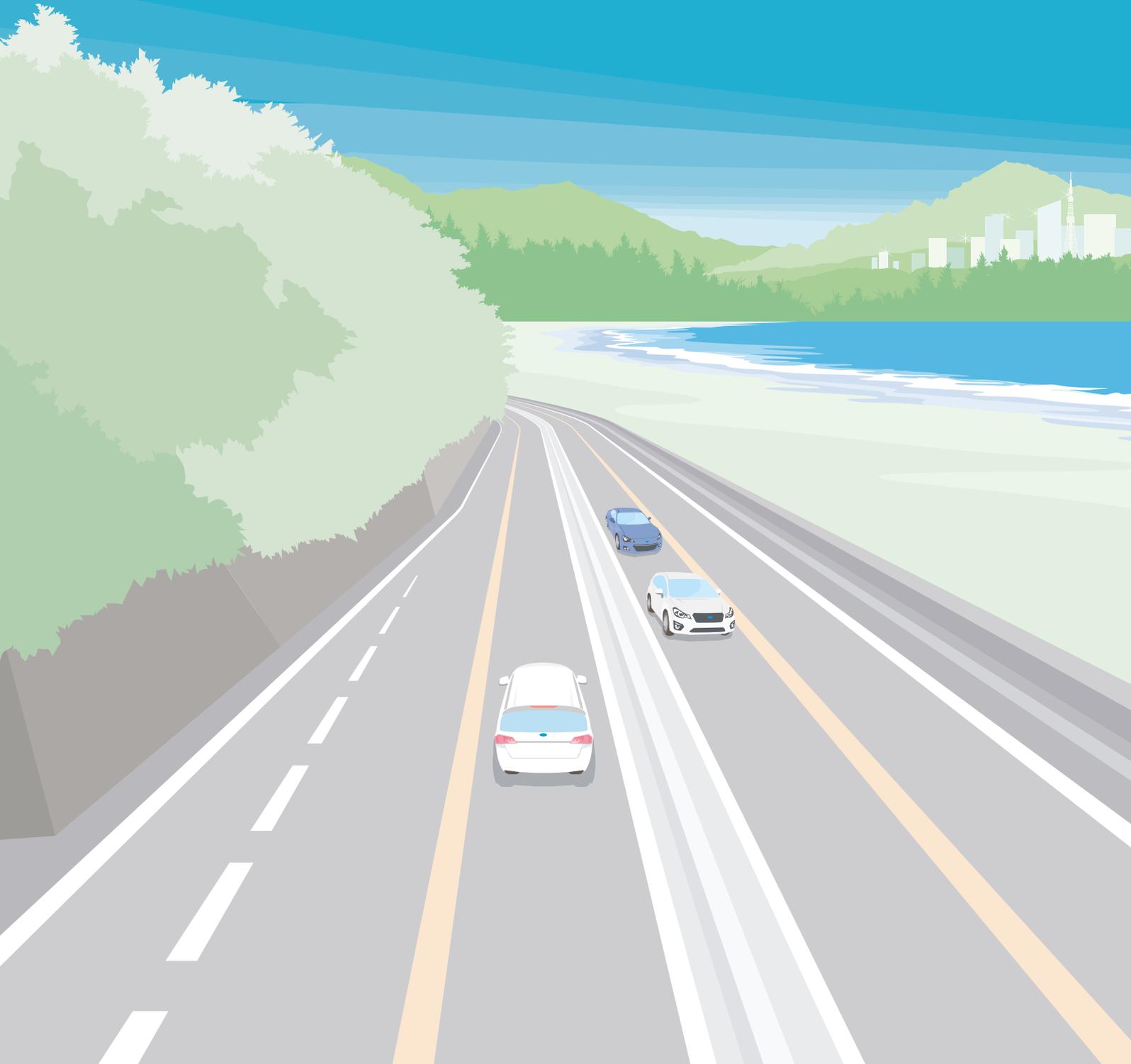




SUBARU

# 2012 CSRレポート

web版フルレポート





## 「2012 CSRレポート」について

### 編集方針

本レポートは、富士重工業株式会社・国内関連会社・海外関連会社のCSR（企業の社会的責任）の取り組み成果をご紹介し、お客さま・株主の皆さま、お取引先・地域社会・従業員などのステークホルダーとコミュニケーションを図り、取り組み内容のさらなる向上を目指すことを目的として発行しました。

「特集」では、ステークホルダーの皆さまに特にお伝えしたい、富士重工業グループの特徴的な取り組みを掲載しています。「富士重工業グループのCSR」のパートでは、富士重工業CSR活動8項目（お客さま・商品、従業員、環境、コンプライアンス、情報公開、調達、社会貢献、コーポレート・ガバナンス）に沿って、CSRの取り組みについてご報告しています。

なお、本レポートは冊子版とweb版フルレポートで構成されています。冊子版、フルレポートの掲載内容については2ページをご覧ください。

また、2011年度版に引き続き、首都大学東京の奥真美教授に第三者意見を依頼しました。この意見書は本レポート71ページに記載しています。

### 対象期間

- ・ 2011年度（2011年4月～2012年3月）の実績と一部それ以前の取り組みや本レポート発行直前までのものを含みます。
- ・ 本レポートにおける所属、役職等は、すべて取材当時のものです。

### 参考としたガイドライン

GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン（第3版）」  
環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

### 対象範囲

**富士重工業株式会社**（主要な生産・開発拠点の所在地）

- スバル自動車部門
- 群馬製作所（群馬県太田市ほか）、東京事業所（東京都三鷹市）
- 産業機器カンパニー [埼玉製作所（埼玉県北本市）]
- 航空宇宙カンパニー [宇都宮製作所（栃木県宇都宮市、愛知県半田市）]
- エコテクノロジーカンパニー [宇都宮製作所（栃木県宇都宮市）]

**国内関係会社**（国内関連企業部会参画の5社）

- 輸送機工業株式会社（愛知県半田市）
- 富士機械株式会社（群馬県前橋市）
- 株式会社イチタン（群馬県太田市）
- 桐生工業株式会社（群馬県桐生市）
- 株式会社スバルロジスティクス（群馬県太田市）

**海外関係会社**（北米環境委員会参画の4社）

- SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.（インディアナ州ラファイエット）
- SOA: Subaru of America, Inc.（ニュージャージー州チェリーヒル）
- SCI: Subaru Canada, Inc.（オンタリオ州ミシサーガ）
- SRD: Subaru Research & Development, Inc.（ミシガン州アンナーバー）

上記関係会社以外にも、国内スバル販売特約店の活動状況などを紹介しています。

### 発行時期

前回発行：2011年9月  
今回発行：2012年9月  
次回発行予定：2013年8月

### 本レポートに関するお問い合わせ先

富士重工業株式会社 経営企画部  
〒160-8316 東京都新宿区西新宿一丁目7番2号 スバルビル  
TEL 03-3347-2033 FAX 03-3347-2381

# Contents

「特集」はフルレポート、冊子版で同じ内容を掲載しています。 ※ただし、特集1の対談のみ、HTML版でロングバージョンを掲載しています。  
「富士重工業グループのCSR」は、全開示項目をwebサイトに掲載し、特に伝えたいことを冊子版で活動ハイライトとしてまとめています。

## 冊子版

当社グループのCSRの取り組みのうち、特にステークホルダーの皆さまにお伝えしたいことをダイジェストとしてまとめました。

- 1 編集方針・対象範囲
- 3 トップメッセージ
- 5 富士重工業グループについて
- 6 事業紹介

### 特集 “Motion-V”の実現に向けて

- 9 特集1  
クルマづくり、お客さまにお届けする  
“安心とゆしさ”を実現するための想いと技術
- 17 特集2  
クルマづくりを通じて子どもたちに伝えたいこと  
スバルの次世代育成・キャリア教育の取り組み
- 20 富士重工業グループのCSR

### お客さま・商品

- 21 お客さまとのコミュニケーション
- 22 品質マネジメント
- 23 安全なクルマづくり
- 24 福祉車両への取り組み

### 従業員

- 25 人材育成／誰もが働きやすい職場づくり
- 26 心身両面の健康づくり／労働安全衛生

### 環境

- 27 環境マネジメント
- 28 第4次環境ボランティアプランと第5次環境ボランティアプラン
- 29 クリーンな商品
- 30 クリーンな工場・オフィス
- 31 クリーンな物流・販売／自動車リサイクル／  
海外関係会社の環境活動報告

### コンプライアンス

- 32 コンプライアンス順守／個人情報の保護

### 情報公開／調達

- 33 株主・投資家の皆さまへの情報開示／  
お取引先との共存共栄の関係づくり

### 社会貢献

- 34 交通安全／教育／地域／社会

### コーポレート・ガバナンス

- 36 コーポレート・ガバナンス体制／リスクマネジメント
- 37 第三者意見
- 38 2011年版からの改善



#### 環境シンボルマーク

2005年6月に、当社はスバルグループの環境シンボルマークを設定しました。マークの中心に「葉」をデザインし、「緑の大地」と「青い空」の地球をコンセプトとし、積極的に環境保全に取り組む想いをこのマークに込めています。



#### 表紙デザイン

当社の主力商品とCSR活動によって築かれる明るい未来をイメージしています。

## web版フルレポート

<http://www.fhi.co.jp/envi/csr/index.html>

PDFおよびHTMLで、当社グループのCSRの取り組みを網羅的に紹介しています。

PDF版のページ構成です。HTML版も同じ構成で公開しています。

- 1 編集方針・対象範囲
- 3 トップメッセージ
- 5 富士重工業グループについて
- 6 事業紹介

### 特集 “Motion-V”の実現に向けて

- 9 特集1  
クルマづくり、お客さまにお届けする  
“安心とゆしさ”を実現するための想いと技術
- 17 特集2  
クルマづくりを通じて子どもたちに伝えたいこと  
スバルの次世代育成・キャリア教育の取り組み
- 20 富士重工業グループのCSR

### お客さま・商品

- 24 お客さまとのコミュニケーション
- 25 品質マネジメント
- 26 安全なクルマづくり
- 27 福祉車両への取り組み

### 従業員

- 28 人材育成
- 29 誰もが働きやすい職場づくり
- 30 労使のコミュニケーション／心身両面の健康づくり
- 31 労働安全衛生

### 環境

- 32 環境委員長メッセージ
- 33 環境マネジメント
- 37 環境会計（富士重工業グループの2011年度実績）
- 38 環境パフォーマンス
- 40 第4次環境ボランティアプラン [2007～2011年度] 実績総括
- 44 第5次環境ボランティアプラン [2012～2016年度] サマリー
- 46 クリーンな商品
- 51 クリーンな工場・オフィス
- 54 クリーンな物流
- 55 クリーンな販売・サービス
- 56 自動車リサイクル
- 58 海外関係会社の環境活動報告

### コンプライアンス

- 60 コンプライアンス順守／コンプライアンス体制と運営
- 61 個人情報の保護

### 情報公開

- 62 株主・投資家の皆さまへの情報開示／  
お客さま・地域の皆さまとのコミュニケーション

### 調達

- 63 お取引先との共存共栄の関係づくり

### 社会貢献

- 64 社会貢献の基本方針／東日本大震災の復興支援活動
- 65 乗り物文化の発展・交通安全の普及／モノづくり・人づくり
- 66 地域貢献／ボランティア活動支援
- 67 海外での取り組み

### コーポレート・ガバナンス

- 69 コーポレート・ガバナンス体制／内部統制システム
- 70 リスクマネジメント
- 71 第三者意見
- 72 2011年度版からの改善

自動車をコアとした事業活動を通じて  
持続的に発展する「豊かな社会づくり」の実現を  
推進していきます。



私たちは、企業理念で「豊かな社会づくり」を謳っているとおり、事業活動を通じて持続的な社会の発展に貢献することを富士重工業グループの使命と考えています。現在取り組んでいる2015年度までの5ヵ年中期経営計画“Motion-V”においても、CSRの目標として「社会的課題の解決に寄与する商品・サービスを提供する企業」と「さまざまなステークホルダーとのかかわりを大切にする企業」を目指すことを掲げて、活動を推進しています。

具体的には、CSR活動をお客さま・商品、従業員、環境、コンプライアンス、情報公開、社会貢献、調達、コーポレート・ガバナンスの8項目に分け、それぞれに目標とする考え方をまとめ、それに則って活動を推進する仕組みを整えています。本レポートにおいても、この8項目に沿って、当社の活動をご紹介します。

お客さま・商品面での昨年のトピックは、米国を皮切りとした世界各国への新型インプレッサの市場導入です。新型水平対向エンジンやアイドリングストップ機能の採用などで燃費性能を大幅に向上させるとともに、レガシィで好評を博している先進運転支援システム「EyeSight (ver.2)」を日本向けに設定するなど、高い衝突安全性能の実現と合わせて、お客さまの「安心」を一層高めることに注力しました。また、新モデル「XV」は、基本性能の高さとスタイリッシュで存在感のあるエクステリアデザインが多くのお客さまからの支持を集め、販売を伸ばしています。

新型インプレッサは、開発から生産、販売に至るまで、「安心と愉しさ」をお客さまに届けたいという私たち一人ひとりの想いが込められたクルマです。計画を大きく越えるご注文を世界中からいただき、生産設備の能力増強などで、早くお客さまにお届けできるよう努めています。

環境面では、「常に地球環境と事業活動の深いかかわりを認識し」「社会の持続的な発展を目指す」当社環境方針に基づいて策定した第5次環境ボランティアプラン(2012～2016年度)の取り組みがスタートしました。地球温暖化対策、資源循環、公害防止・有害化学物質使用削減、環境マネジメントのそれぞれの項目で、新たに、今まで以上の高い目標を掲げ、その達成を目指しています。

昨年は、3月に発生した東日本大震災、そして、その後の電力不足の問題やタイにおける大洪水など相次いでサプライチェーンのリスクに直面し、事業を継続していくことの重要性を再認識し、企業の社会的責任を改めて実感した1年となりました。

これからも、世界で事業を展開する「企業市民」としての責任を果たしながら、世界の皆さまから信頼される企業となることを目指してまいります。今後とも、ステークホルダーの皆さまのご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

代表取締役社長  
CSR委員長

吉永泰之

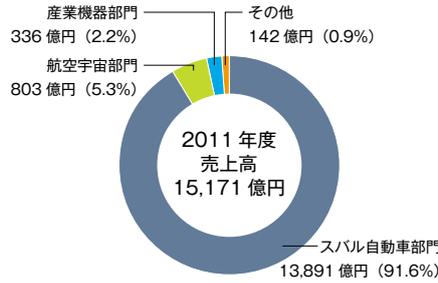
# 富士重工業グループについて

## 会社概要 (2012年3月31日現在)

社名	富士重工業株式会社 (Fuji Heavy Industries Ltd.)
創立	1953年7月15日
資本金	1,538億円
従業員数	27,123名(連結) 12,359名(単体)
本社	東京都新宿区西新宿一丁目7番2号 代表電話番号 03-3347-2111
売上高	15,171億円(連結) 10,389億円(単体)
営業利益	440億円(連結) 11億円(単体)
経常利益	373億円(連結) 81億円(単体)
当期純利益	385億円(連結) 93億円(単体)
連結子会社	国内49社、海外21社
持分法適用の子会社	国内5社、海外4社

\*売上高~当期純利益の数値は2011年度実績です。

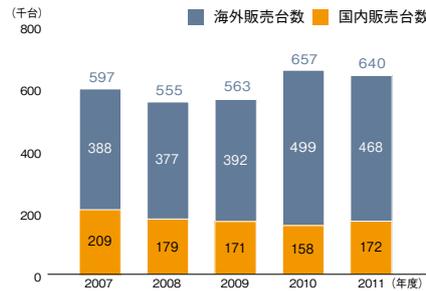
## 2011年度売上高部門別比率(連結)



## 売上高推移(連結)



## 販売台数の推移(連結)



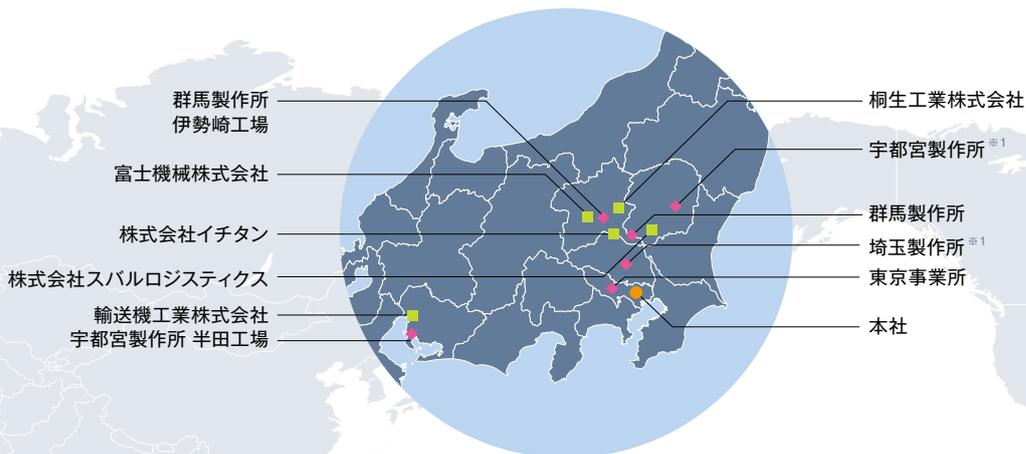
## 従業員数の推移



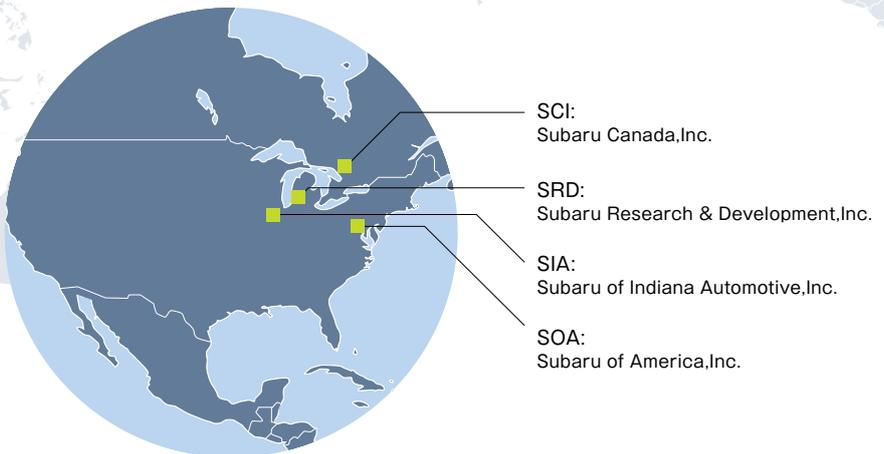
\*グラフの数値は四捨五入のため、比率の総和が合わない場合があります。

## 主な拠点紹介

### 当社および国内関係会社



### 海外関係会社



● 本社  
◆ 富士重工業事業所・製作所  
■ 関係会社

※1 本レポートでは、航空宇宙カンパニーとエコテクノロジーカンパニーの生産拠点を「宇都宮製作所」と、また、産業機械カンパニーを「埼玉製作所」と表記している場合があります。

## 事業紹介

一人でも多くのお客さまの生活や人生をより豊かに満たしていくこと。  
その想いを、すべての製品づくりに込めています。

当社はスバル[SUBARU]ブランドのもと、クルマを中心とした輸送機器メーカーとして4つの事業部門を展開しています。

### スバル自動車部門

SUBARU Automotive Business



### ブランドステートメント



**SUBARU**

Confidence in Motion

スバルは "Confidence in Motion" を通じてスバルならではの「クルマのある自由で楽しい生活」を提案し、自分らしい豊かな人生を求める、より多くのお客さまの期待に応えるために、自らを革新し続けていきます。

### 快適で楽しい走りを約束するクルマをお届けします

当社は、1958年に「スバル360」を発売して以来、日本の自動車産業の発展に寄与してきました。1966年に発売した「スバル1000」で水平対向エンジンを採用。1972年に世界初の乗用四輪駆動車を発売し、水平対向エンジンを核とした左右対称のパワートレートを「シンメトリカルAWD」システムとして確立してきました。

また、「運転支援システム EyeSight」や、新世代のトランスミッション、「リニアトロニック」の開発など、社会動向を踏まえながら常に新しいチャレンジを続けています。

#### 所在地

- 群馬製作所 (群馬県太田市、伊勢崎市、邑楽郡大泉町)
- 東京事業所 (東京都三鷹市)



### 産業機器カンパニー

Industrial Products Company

### 地球上のあらゆる環境下で使われる汎用エンジンを量産しています

産業機器カンパニーでは、建設機械や産業機械に搭載する「ロビン」ブランドの汎用エンジンと、ロビンエンジンを搭載した商品を開発・生産・販売しています。また、スノーモービルやバギーなどに使われる高性能エンジン、エンジン駆動の発電機、投光器、ポンプなどの製品も手がけています。

#### 所在地

- 埼玉製作所 (埼玉県北本市)

### エコテクノロジーカンパニー

Eco Technologies Company

### 住み良い環境と資源循環型社会に貢献しています

スバル風力発電事業については2012年7月1日をもって株式会社日立製作所へ事業譲渡しました。また、塵芥収集事業については2012年12月28日をもって新明和工業株式会社へ事業譲渡する予定です。

### 航空宇宙カンパニー

Aerospace Company



### 多種多様な航空機の開発・生産に携わっています

当社の前身である「中島飛行機」の技術とスピリットを受け継ぎ、現在は主翼などの複合材を含む航空機構造体の開発技術、無人機分野でのIT技術、飛行制御技術を融合した高度システムインテグレーション技術などさまざまなカテゴリーでナンバーワン技術を確立しています。

ヘリコプターや固定翼機、無人機の開発・生産を行うほか、大型旅客機の開発・生産にも参画。世界に存在感のある航空機メーカーへの発展を目指しています。

#### 所在地

- 宇都宮製作所 (栃木県宇都宮市)